



はぎわら陽子 木崎としゆき



議会報告 2020年 秋季号

佐倉市議会議員団

PCR等検査拡大へ 750人分を予算化

さらなる増額を！

「経済を回復させるためにもPCR等検査を増やすことが一番大事」と提案し、市長への申し入れを行なってきた日本共産党は、検査拡充を歓迎。

ただし、今回は学校・学童保育・保育園・幼稚園など子どもを対象に2475万円ですが、介護施設や医療機関などリスクの高い施設を対象に加えること、感染が確認された場合に思い切って検査を広げられるよう、予算のさらなる増額を求めます。

リスクがあっても 地下図書館を建設

佐倉図書館建て替え建築工事を17億2450万円で落札した前田建設は、不法な行為（石膏ボードなどの端材やゴミを壁の隙間に廃棄）が報道されています。信頼性の失墜した建設業者との契約は見直すべきです。

市は、不法行為は15年前で時効だと契約を進めますが、国交省中央建設工事紛争審議会で係争中であり、信頼性に時効はありません。

企業体質が問われる業者に市民の大事な公共施設の建設を任せて良いのか。狭い場所への複合施設建設で図書館を地下に設計し、建設費用は30億円へと大幅に増加します。



西田市長へ申し入れる萩原市議・木崎市議

- 市民が望んでいない地下図書館にする理由説明がなく、市民の合意もない。
- 駐車場が半減し、美術館利用者も買い物客も不便。新町活性化に逆行する。
- 地下を掘った土砂の搬出に10トンドンプが3ヶ月間1日60往復する危険。
- 車椅子やベビーカーに配慮すべき地下からの避難スロープは急勾配で無謀。

小規模事業者への家賃補助 900件分9千万円を予算化

7月臨時議会で見送ったテナントの家賃補助、10万円を上限に10月から受付を開始します。新型コロナで収入が20%以上減少した小規模事業者にも朗報です。

コロナの影響から市内業者の営業を守るとは、市の重要な役割です。事業者は一度限りではなく、継続した直接支援を必要としています。

城下町にふさわしく、 利用しやすい図書館が 市民の望みです



商店会役員や秋祭り関係者、山車人形保存会の意見を聞いたと言いますが、地元の一般住民への説明は不十分です。

国の補助金と図書館運営の民間委託ありきの事業計画に不信感がつのります。

公共施設は安全が第一、災害弱者にもっと配慮すべきです。



約束と違う
じゃないか!

就学援助制度

生活保護の支給基準額が年々引き下げられています。この基準額は様々な生活支援制度の基準となり、利用対象者にも影響があることから日本共産党は引き下げに反対してきました。

「せめて子どもたちの学びを保障する就学援助制度には影響がないように」との要求に教育委員会は「配慮する」と答弁。しかし就学援助制度募集のプリントには「生活保護基準の1.3倍未満の所得が対象」とあり、これでは支給対象児童も支給額も減ることになります。実際、不況の中なのに佐倉市の申請者数は減っています。

「約束と違う」と日本共産党がただしたところ、「申請しても対象にならなかったら申し訳ないから」と開き直り、対象となる所得額が低くなっていることを認めました。

佐倉市スマートオフィスプレイス CO-LABO SAKURA

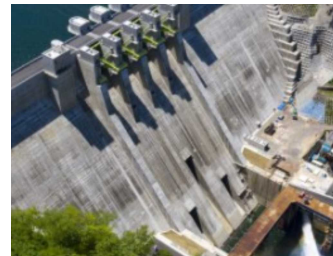
「働かせ放題・改革」を後押し!?

安倍政権下「働き方改革」を後押しすると昨年始まった「コラボサクラ(テレワーク等貸館事業)」。

個人利用のデスクスペース利用者は月平均18.6人で、採算がとれないのは明らかです。

令和元年度、約2700万円もの支出をしましたが、市全体の「街中賑わい推進事業」約1500万円と比べて、あまりにも特定の事業者への税金支出がかたよっています。

また、1日に10～13時間の長時間利用者もいることが判明。それなのに労働衛生安全面への配慮は全くない状態に「公共施設のあり方」が鋭く問われます。



水道料金 値上げの 準備 始まる!

水源確保事業に 約40億円(予定額含め)支出

上下水道は市民の命綱。ところが、利用料金の値上げが準備がされています。

令和元年度決算では八ッ場ダム完成に向け建設費約8億3500万円を支出、今後も維持費がかかります。

令和5年度には霞ヶ浦導水が完成予定で、既に約4億6000万円支出、必要のない水を購入することが水道料金値上げの原因です。

「市民に負担感がないよう徐々に値上げせざるを得ない」と市は答弁。県の地下水(井戸)取水制限は地盤沈下を理由にしますが、昨年の市議会で地盤沈下は落ち着いていることを日本共産党は指摘しています。

膨大な建設工事費のため、市民の水道料金が値上げでは本末転倒。市には美味しく安全で安価な水道水を守る責務(水道法第1条)があります。

マイナンバー制度にご注意を!

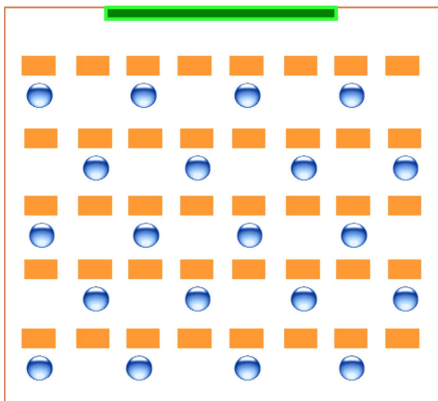
その「ポイント」であなたの個人情報が...

個人番号カード等交付事業は、さまざまな情報もれの事故が次々と表面化している現状から、開始後6年がたつのに市民へのカード普及率はたったの12.2%です。

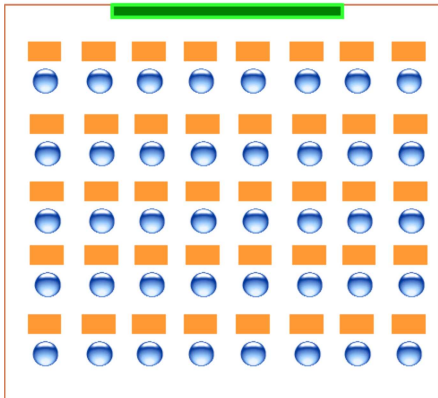
電子決済アプリ等との連結で「ポイントがもらえる、急いで!」と政府のCMが流れていますが、今後政府は銀行口座や健康保険証等との紐づけも狙っています。

たった12桁の数字で個人情報が「まる裸」になることから、日本共産党は一貫して反対しています。

【1クラス20人の例】



【1クラス40人の例】



文部科学省「学校の新しい生活様式」から作成

やっぱり
少人数数学級がいいね



コロナ感染拡大の影響を大きく受けた子どもたち。学校生活でも「けなげに我慢している」と先生は見ています。伸び伸びと学べる環境をつくるために、少人数数学級の有効性が多くの教育関係者の共通認識になりました。

3月の一斉休校で卒業式・入学式をはじめ様々な学校行事が中止され、貴重な成長の段階を体験できなかった子どもたちの心に寄り添う教育が必要です。

6月からの登校では、3密を避けるためにクラスを二つに分けての授業を実施。図らずも少人数数学級を体験することになった教師からは「一人ひとりに目が届いた。子どもの声が良く聞こえた。余裕を持って授業が出来た」と好評でした。

少人数数学級は全国知事会・市長会・校長会も要望しています。必要なのは先生と教室を増やす予算です。子どもたちに良い教育環境を整備するのは行政の責任です。



公共施設のアスベスト対策を万全に

アスベストは肺がんなどの原因になる建設資材で、現在は使用禁止になっていますが、1950年代には耐火被覆材として多くの公共施設に使われました。

微細な粉塵を吸い込んでから発病まで30～40年と永く、被害者の死亡は今も増加しています。

- ・アスベストの吹付け作業：昭和50年に禁止（特定化学物質等障害予防規則）
- ・アスベストの中で、アモサイト（茶石綿）とクロシドライト（青石綿）の製造、輸入、使用等：平成7年に禁止（労働安全衛生法施行令）
- ・吹付けアスベストを使用する建築物の解体等の作業に伴う石綿による大気汚染を防止するため作業基準の設定、事前届出等を規定：平成8年（大気汚染防止法改正）
- ・アスベストの中で、クリソタイル（白石綿）の製造、輸入、使用等：平成16年10月に原則禁止（労働安全衛生法施行令）

和田公民館のアスベスト問題

国の全国調査に基づき、市は平成17年度に公共施設の調査を行ない、中学校1箇所のアスベスト除去工事を行ないました。

和田公民館で高い数値が出た箇所については、後日の再検査で検出無しとされましたが、2月の空調交換工事の際は学童保育を休みにし、職員は和田ふるさと館に避難させる対応をとりました。

和田公民館は市民が使用する場所であり、学童保育所にも使っている場所です。今後の追加工事の際には、子どもたち、市民、職員の健康に十分な配慮を求めました。地震災害も考慮したアスベスト対策が必要です。

無料法律・生活相談会 10月17日／11月21日／12月19日
毎月第3土曜日 午前10時より 会場 ひだまり（京成佐倉駅北口）



必ずやってね

もっと便利に使いやすく

来年1月から始まるコミバス割引制度

市内公共交通の運賃割引制度創設を望む切実な要望が、高齢者団体等から寄せられてきました。8月議会の冒頭で市は来年1月から高齢者や子育て世帯などへの割引制度を準備中と答弁しましたが、市営のコミバスだけ。

市内公共交通網全体に対する割引制度を求める市民からの陳情は、下表のように否決されてしまいました。

日本共産党は、八幡台住民が民間バス会社と契約・運行している通称「はっちまん」の運賃がコミバスより10円高いことへの補助も求めましたが、「民間バスへの補助は考えていない」との答弁。和田地域運行の民間バス路線へ赤字分の補助をしていることと矛盾します。

すべての民間バス路線を含め、市内どこに住んでいても利用しやすい公共交通網の検討を求めています。

新型コロナ対策へ

10人の議員が共同議案を提出

新型コロナウイルス感染症対策には、様々な分野で多額の予算が想定されます。医療・介護・福祉の現場、市内事業者への損失補填、子どもたちの学びの保障と少人数学級実現、検査体制の拡充等々多岐にわたります。

この議員提出議案は、事前に各議員へ文書で通知され、誰でも共同提出議員になれる民主的な制度。私たちは、元々不要になった委員会視察の予算を市へ返納するというさくら会の提案だけでなく、議員報酬削減と広く市民からの寄付も募れる基金の創設を求めました。

代表して登壇した高橋議員は「質問して欲しい。反対するなら理由を述べて欲しい」と力強く訴えました。

日本共産党など10人の議員は議員給与・期末手当の10%削減(半年)【表★】とコロナ対策基金の創設【表★】を提案しました。さくら会などが提案【表◆】した委員会視察中止による予算(約390万円)等も合わせ1500万円以上を基金の土台とし、市内外有志の方々からも基金への寄付を募るといふものです。

★決議提出議員(敬称略) 高橋とみお/五十嵐智美/松島梢/川口絵美/萩原陽子/木崎俊行/藤崎良次/宇田実生子/稲田敏昭/玉城清剛 以上10名

8月議会最終日(9/14)
採決の本会議が視聴できます。QRコード⇒



× 反対
○ 賛成

	日本共産党	市民ネットワーク	オンブズひまわり会	新社会党	高橋とみお	玉城せいごう	自由民主さくら	公明党	さくら会
★コロナ対策のため議員報酬10%削減を求める決議	○	○	○	○	○	○	×	×	×
★コロナ対策のため基金創設を求める決議	○	○	○	○	○	○	×	×	×
◆コロナウイルス感染症対策の拡充を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高齢者外出支援・市内公共交通網利用促進「割引」制度の新たな事業化を求める陳情(市民提出)	○	○	○	○	○	○	×	×	×

質問なし、
理由を言わずに反対する
自由民主、公明、さくら会

質問もせず、理由も言わずに反対し、否決することは、言論の府である議会において、市民への説明責任を果たさない態度であり、大きな問題です。